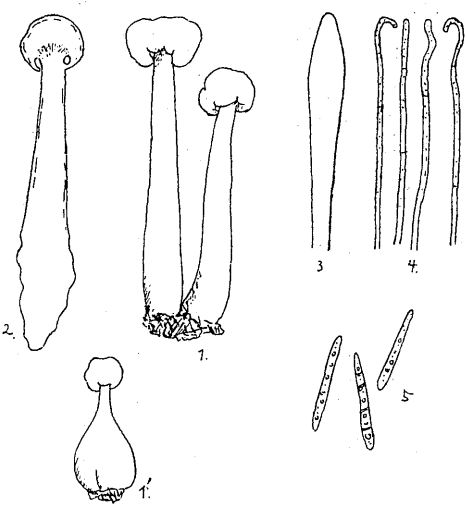


第二圖　ほていたけ

1. 全形（實大）　2. 縱斷面　3. 子嚢　4. 側絲
5. 胞子　（原寫原圖）

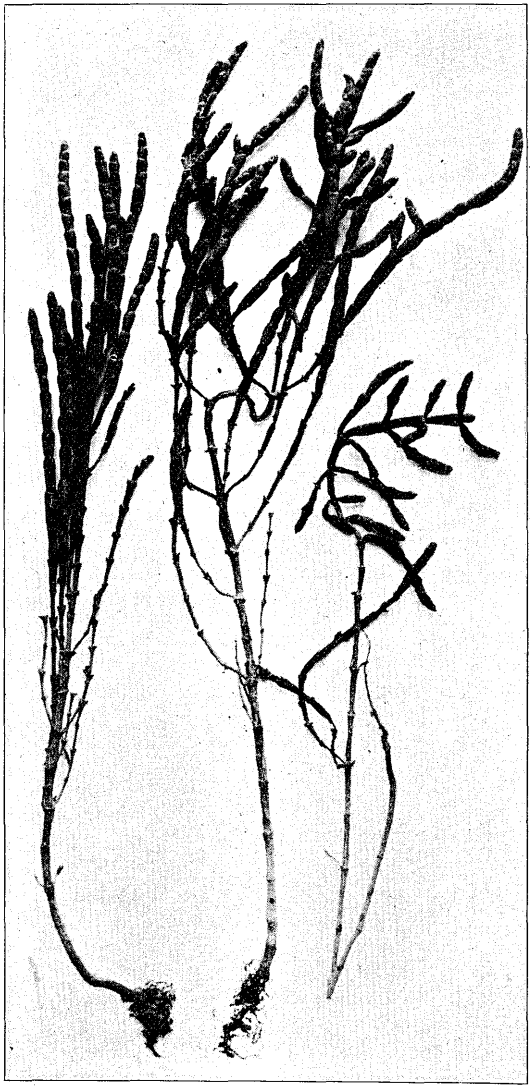
ナッテモ又液漬標本ニシテモ決シテづきんだけノ如ク綠色ヲ帶ビナイコトニヨリ容易ニ區別サレル、安田篤氏ハ仙臺附近ニテ採集セルモノニ前記和名ヲ與ヘ歐米ニ產スル Cudonia circinans (Pers.) Fries. ト同種トシテ植物學雜誌第二十九卷六〇頁ニ發表シテヰル、C. circinans Fr. ヲ外國ノ書ニ求メルト頭部ノ緣邊ガ著シク內側ヘ曲ッテヲリ胞子ノ大サヲ 35—45×2μ トシテヰル、Lloyd 氏ハ安田氏ノ採品ヲ檢シテコノ差異ヲ認メ C. convoluta Yasuda ex Lloyd, Micol. Wright. V. p. 18 (1916) ノ新名ヲ附シタガ後安田氏ヨリノ注意ニヨリコレヲ取消シテヰル、又安田氏ハ前記植物學雜誌ニ於テ胞子ノ大サヲ丁度中間ノ 30—35×2μ トシテヰルカラコノ範圍ノ變化ハアリウルモノト考ヘラレル、可ナリ形ガ變ル菌デアルカラコノ邦產ノモノモ C. circinans Fr. ニ當テテオイテ大キナ誤ハナカロウ

○あっけしさうノ朝鮮新産地ヲ報ズ

朝鮮、京城藥學專門學校　藥學士　都逢涉

あっけしさう (Salicornia herbacea L.— あかざ科) ノ產地ニ就テハ本誌第八卷、第三號ニ四國、北海道及ビ樺太ノ產地ニ就テ報告サレテヰル、然ルニ朝鮮ノ產地ニ就テハ未ダ詳カニ報ゼラレタルモノハ無イ、吾等京城藥

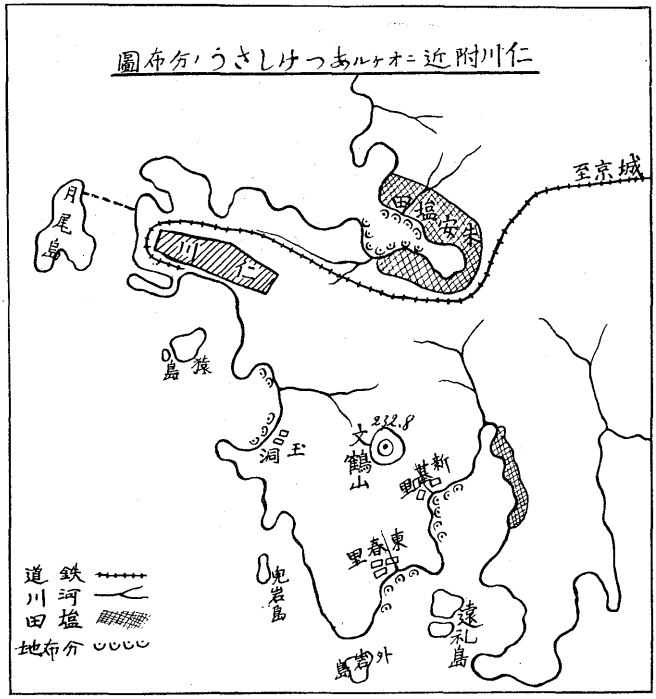
學專門學
校植物同
好會員ハ
昭和七年
九月十八
日石戸谷
先生指導
ノモトニ
仁川文鶴
山ヲ中心
トシテ植
物採集ヲ
行ヒ歸路
玉洞附近



あっけしさう (Salicornia herbacea L.)
(石戸谷氏撮影)

ノ海岸ニ道ヲトリ海岸植物ヲ採集シタル際ニ七面草ノ海岸植物群落ノ中ニあっけしさうガ比較的豐富ニ混在シテヰルノヲ見出スコトガ出來タ

朝鮮ノあっけしさうニ就テハ先キニ森爲三氏朝鮮植物名彙ニ江華島、鎭南浦カラ採集サレタ品ノアルコトヲ報告サレテヰルガコノ分布地ノ詳細ナル地點ニ就テ明示サレテヰナイ、吾等同好會員ハコノ發見ニ刺戟サレテ仁川附近ニ就テ廣クソノ分布狀態ヲ調ベテ見タ所別紙圖面ニ示ス如ク朱安ノ濱、新基里、東春里、玉洞ノ濱ニ何



朝鮮仁川附近ノあっけしさうノ分布
(著者製圖)

レモ海岸ニ接シテ海潮時海水中ニ沒スル泥土地帶ニ澤山生育スルコトヲ確メルコトガ出來タ、恐ラク吾等ハ朝鮮ノ西海岸ニ於テハ黄海道ヨリ京畿道ニ亙リ七面草ノ群落ヲ最モ普通ニ見ルコトガ出來ルガコノ群落ノ中ニあっけしさうモ混入分布シテヰルモノト思ハレル、半島ノ日本海ニ面シタ地方カラハ未ダ誰レモコノ植物ヲ採ッテヰナイ

(以上)

○りしりしのぶノ新産地ヲ報ズル

村松七郎

りしりしのぶ Cryptogramme crispa R. Br. ハ北海道北見國利尻島ノ利尻山デ最初發見サレタ所ヨリ如斯名ケラレタモノデアル、海外デハ歐洲、西部亞細亞ノ高山岩石帶ニ産スルトイフガ、本邦デハ樺太、千島、北海道等ノ北地ニ限ラレ只本州ニ於テハ先年牧野先生ノ手ニヨリテ岩手縣早池峯ニ發見サレテ以來他ニ本種ノ産出ヲ聞カヌノデアッタ、